

令和元年

第3回市議会定例会 報告第1号

平成30（2018）年度健全化判断比率および資金不足比率
の報告について

上記について次のとおり監査委員の意見を付けて報告する。

令和元年9月2日提出

函館市長 工藤 壽 樹

（健全化判断比率）

（単位：％）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
－（11.25）	－（16.25）	8.1（25）	57.2（350）

備 考

- 1 実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は、「－」と表記する。
- 2 表中（ ）書きの数値は、早期健全化基準を示す。

（資金不足比率）

（単位：％）

特別会計の名称	資金不足比率
地方卸売市場事業	－（20）
発電事業	－（20）
水道事業	－（20）
公共下水道事業	－（20）
交通事業	－（20）
病院事業	17.3（20）

備 考

- 1 資金不足額がない場合は、「－」と表記する。
- 2 表中（ ）書きの数値は、経営健全化基準を示す。

（根拠規定）

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項および第22条第1項